

## RUN 表示ランプ

CPU を RUN モードに移行できない( RUN 表示ランプが消灯する )場合、CPU に致命的なエラーがない限り、ほとんどの場合、問題はアプリケーションプログラム内にあります。致命的なエラーが発生すると、CPU 表示 LED が点灯します。( プログラミング装置からエラーの原因を調べることができます )。

D2-240、D2-250-1、または D2-260 を使用して、プログラミング装置でモードを変更しようとする場合は、モードスイッチが TERM 位置にあることを確認してください。

プログラミング装置( ハンドヘルドプログラマとダイレクトソフト )は、問題を説明するエラーメッセージを返します。エラーにもよりますが、メニュー機能を実行しても問題を診断することができます。プログラムエラーの中でもっとも多いのが「END 命令なし」です。アプリケーションプログラムが正常に終了するには END 命令が必要です。エラーコードの一覧については、付録 B を参照してください。

## CPU 表示ランプ

CPU 表示ランプが点灯していると、CPU 内で致命的なエラーが発生しています。一般に、この場合はプログラムの問題ではなく、ハードウェア自体の故障です。システムの電源をリセットすると、エラーを解除できる場合があります。エラーが解除されるならば、システムを監視して問題の原因を調べる必要があります。高周波数の電気ノイズが外部から CPU 内に混入していることがこの問題の原因となっている場合があります。システムの接地状態をチェックして、接地が問題と思われる場合は、電気ノイズフィルタを設置してください。システムの電源をリセットしてもエラーが解除されない場合、あるいは問題が再発する場合は、CPU を交換する必要があります。

## BATT 表示ランプ

BATT 表示ランプが点灯している場合は、CPU のバッテリーが接続されていないか、または交換する必要があります。システム電圧が供給されている間、バッテリー電圧は常に監視されています。

## 通信障害

CPU との通信を確立できない場合は、下記の点をチェックしてください。

- ケーブルが外れている。
- ケーブルのワイヤが断線している、または正しく配線されていない。
- ケーブルの終端が不良となっている、またはケーブルが接地されている。
- 接続している装置が正しいボーレート( 上側のポートで 9600 ボー )で動作していない。D2-240、D2-250-1、および D2-260 に付いている下側のポートのボーレートを変更するには、メニュー 56 を使用します。
- ポートに接続している装置がデータを正しく送信していない。
- 2 台の装置間で接地方法が異なっている。
- 電気ノイズにより、断続的なエラーが発生している。
- CPU の通信ポートが故障している( この場合は交換してください )。

エラーが発生すると、通信状況が正常に戻るまで表示部が点灯し続けます。